



白塚ケアサービスセンター
シルバーケア豊壽園
施設長 近藤 加織

この度、白塚ケアサービスセンターの施設長に就任しました近藤加織（こんどう かおり）と申します。私は大学卒業後、平成14年に洗心福祉会に入職し特別養護老人ホーム等施設系担当を経て、在宅サービスを経験し現在はケアマネジャーとして日々奮闘している毎日です。白塚ケアサービスセンターは平成16年に開設し、今年で20年を迎え洗心福祉会の中でも歴史ある施設でありその重責に身の引き締まる思いであります。ご利用者の皆さまはもちろんのことご家族、地域の皆さま、職員、またかかわる全ての皆さまが「豊壽園でよかった」と笑顔になっていただけるよう皆で力を合わせて頑張っております。ここまで成長させていただいた皆さまに感謝の気持ちを忘れず、身体の小さい私ですが持てる力をこれまで以上に、精一杯発揮できるよう努力を重ねて参りますのでご指導、ご支援をよろしくお願いいたします。

〔休日の過ごし方 / 特技〕 友人とランチ、今は暑い季節なのでかき氷ツアー / 健康なこと・書道



ふたみ介護老人保健施設
シルバーケア豊壽園
施設長付 西井 健太

この度、ふたみ介護老人保健施設シルバーケア豊壽園の施設長付として就任いたしました西井健太（にしい けんた）と申します。私は施設系サービスにおいて、介護職員、生活相談員、介護支援専門員として経験を積んでまいりました。また、在宅系および地域密着型サービスでは、介護支援専門員や管理者としての役割を果たしてまいりました。まだまだ若輩者ではございますが、これまで培ってきた経験を活かし、多くの方々に当施設をご利用いただけるよう努めてまいります。それが地域への最大の貢献と信じております。ご利用者、ご家族、関係機関の皆さま、今後ともご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願い申し上げます。

〔休日の過ごし方 / 特技〕 ソロバーベキュー・靴磨き / コーヒーに関すること全般（焙煎・抽出・カップングなど）



ふたみ居宅介護支援センター
シルバーケア豊壽園
施設長 小角祥太

ご家族やご利用者の皆さまへ、ふたみシルバーケア豊壽園の居宅事業施設長に就任いたしました小角祥太（こすみしょうた）です。これまで、津介護老人保健施設、津特別養護老人ホーム、新高茶屋ケアサービスセンターでの経験を積み、この度新たに当施設での役目を仰せつかりました。皆さまのご期待に応え、安心して過ごしていただける環境を提供するため、全力を尽くす所存です。ご利用者一人ひとりの笑顔とご家族の安心のために、スタッフ一同と共に最善を尽くしてまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

〔休日の過ごし方 / 特技〕 ジムでトレーニング / 分かる人にはわかる細かいモノマネ



法人本部財務管理部
財務管理課
課長代理 岩崎 真仁

この度、法人本部財務管理部財務管理課の課長代理に就任いたしました岩崎 真仁（いわさき まさひと）と申します。洗心福祉会は県内最大規模の社会福祉法人であり、その大規模法人の財務部門の管理職に就任したことは身の引き締まる思いでいっぱいです。私は今年度新たに管理職に就任した4名のなかでも唯一、現場の部署よりも現場を支える下支えの部署の方が長い者でもあります。たとえ間接的であっても現場の職員と共に、ご利用者が笑顔で過ごしていただけるよう精進して参りますので、皆さま方のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

〔休日の過ごし方 / 特技〕 子どものサッカー観戦・たまにランニング / 野球以外の球技（特にバスケ・サッカー）

法人から地域情報（予定等のお知らせ）

information

志摩市

大王町で運営している「認知症対応型グループホーム」が障がい者を対象とした共同生活援助「大王共同生活援助シルバーケア豊壽園」の事業運営を開始しました。併設施設として、多世代が共に支え合う新たな施設となります。

伊勢市

大世古町にある、いせの杜保育園が新たなカタチに生まれかわりました。建物内には地域交流を目的としたスペース「杜のテラス」を新たに設け、保育園児や地域住民の皆様との交流、そして同市で運営するふたみシルバーケア豊壽園のスタッフを交えたイベントも開催しています。

法人理念

- 1 当法人は、公器として地域社会に貢献する。
- 2 当法人は、事業を通じ安心と健康をモットーに、夢と希望を創造する。
- 3 当法人は、未来発展を目指し、人々の生活と社会の変化に常に誠意を持って前向きに取り組む。

社会福祉法人洗心福祉会の令和6年理事会が6月12日（水）に、また評議員会が6月27日（木）に洗心福祉会本町総合事務所5階会議室にて開催されました。理事会及び評議員会では各理事及び監事、評議員が出席され、社会福祉法人洗心福祉会定款の一部を改正する定款等の改正のほか、令和5年度社会福祉法人洗心福祉会事業実績報告及び同会計報告書について等が厳正に審査され、原案どおりに可決されました。概要については、社会福祉法人洗心福祉会本町総合事務所3階ロビー掲示板に掲示を、またその内容については膨大なため、同事務所総務部にて閲覧が出来ますので、担当職員までお申下さい。

社会福祉法人 洗心福祉会からの お知らせ

洗心

地域と繋がる



- p2. ケアマネジャーのつとめ - 暮らしのサポート -
- p3. ～共に学ぶ～ 三重県立明野高等学校福祉科
- p4. 新しい地域の拠点として
- p5. 体操教室はじめました
- p6. 福祉 DX の推進
- p7. 思いを馳せて - 外国人技能実習生 - 続編
- p8. 今、輝いているあなたにクリック

ケアマネジャーのつとめ ー暮らしのサポートー

高茶屋居宅支援事業兼
つまちなか居宅事業
施設長 島田 美麻

平素より皆様には社会福祉法人洗心福祉会の事業運営にご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

当法人には9つの居宅支援事業所があり、約40名のケアマネジャーが在籍しています。

介護支援専門員(ケアマネジャー)は要介護又は要支援の認定を受けた方からの相談や、心身の状況に応じて、必要なサービス(訪問介護、通所リハビリ、福祉用具貸与など)を受けられるようにケアプラン(介護サービス等の提供についての計画)の作成や市町村・サービス事業者・施設、医療機関等との連絡調整を行なっています。

ご本人やご家族の話を聞かせて頂き、その方らしく生活していくために、過不足なく適切な医療・介護サービスが利用できるよう調整していくのですが、「過不足なく、適切」というのはとても難

しく、ご本人の考え、ご家族それぞれの思い、心身の状況、経済状況、住環境、地域との関係など、様々なことを考え合わせながら支援にあたる必要があります。ケアマネジャーに求められる知識は多岐にわたり、資格取得後も新しい制度や知識を習得する自己研鑽も必要となります。もちろん、知識だけでなく、コミュニケーション力や柔軟な対応力も欠かせません。自分の気持ちをうまく表現することが出来ない方の表情やしぐさから、想いを想像する力も必要となります。

以前に比べ、介護サービスを利用することが当たり前の世の中になったとはいえ、まだまだ自分や家族のことを他人に相談することに躊躇される方はたくさん見えます。ご利用者やご家族から、相談しようと思いがらつつい先延ばしにしていた、今日は思い切って

連絡をしてよかった、と言っていたことがあります。とても嬉しく思う反面、これまで悩まれて過ごされた日々を思うと切ない気持ちにもなります。もっと気軽に相談できる、身近な居宅介護支援事業所にならなければならないと思います。今後も、介護保険や福祉サービスを活用しながらご本人が望む当たり前の生活を送ることができるよう、ご本人を中心として関係者と共に歩みを進めていきたいと思えます。もちろん、ケアマネジャー個人のスキルには限界があります。それぞれの立場で専門性を発揮し、スキルを補い合うためにチームがあります。法人内外のサービス支援事業所はもちろんですが、県・市町村の関係機関、医療機関、地域の方々との協同・連携も重要かつ不可欠で、私たちケアマネジャーはその架け橋となれるよう今後もつとめていきます。



～共に学ぶ～

三重県立明野高等学校福祉科 ふたみシルバーケア豊壽園

当法人は、令和5年度から三重県伊勢市小俣町にある三重県立明野高等学校の非常勤講師を担っています。

本校は4つの学科で構成されており、そのひとつに福祉科があります。福祉科では、3年間で社会福祉や介護の知識、技術を学習し、保育園や障がい者及び高齢者施設などでの実習を通じて、各資格の取得のほか卒業後の福祉現場での活躍や福祉・医療系への進学等様々な道を進んでいます。

令和6年度は1年生37名を対象に1年間を通して、同市二見町で運営するふたみシルバーケア豊壽園の上野統括リーダーが福祉科の「生活支援技術」を担当します。

“生活とは”人が生きるために必要な活動のことであり、私たちの生活の基盤です。

介護の役割のひとつである生活支援は、介護や支援が必要な方の意志を尊重し、その方が望む暮らしを支えることを言います。まさに、福祉の基本的考えと姿勢となります。

明野高等学校の生徒の皆様は、それぞれの将来の夢や目標に向かって日々学んでいます。

そんな未来を担う福祉人材との関わりは、法人職員としても学びの機会と捉えています。こうした貴重な機会を通じて、共に成長していきたいと思えます。



新しい地域の拠点として 杜のテラス



先日リニューアルオープンを迎えた いせの杜保育園には、地域と共に育む交流の場として、地域交流スペース『杜のテラス』を設けています。

令和6年4月19日（金）に竣工後初の地域開放と交流を目的としたイベントを行いました。地域住民の皆様といせの杜保育園に通う園児たちとの新園舎の見学会や、子どもたちによる元気いっぱいの体操や保育士によるパネルシアターの披露、テラスでの珈琲タイム等、地域の皆様との交流を通じた深い関わりを育むことができました。



今後の運営はもちろんですが、同市内で運営するふたみシルバーケア豊寿園の各専門職による健康教室やカフェの開催など、地域の皆様の健康づくりや生涯学習など楽しみながら取り組めるイベントを杜のテラスを舞台に展開していきます。



体操教室はじめました 保育事業部「しまの杜保育園」

法人が運営する保育園では、5歳児の1年間の取り組みのひとつとして「体操教室」があります。

県内7か所で開講する『相好体操クラブ』の担当スタッフによる訪問型体操教室で、担当スタッフの数多くが現役選手であったり、国内のトップレベルの試合出場の実績もある先生たちとなります。また、競技力や体力向上はもちろんのこと礼儀や協調性、集団行動、忍耐力などを育めるように同時に指導していただけます。

新年度を迎えてこの体操教室の参加を楽しみにしていた子どもたち。法人内の全ての保育園で実施される中、志摩市で運営する『しまの杜保育園』では、新年度を迎える中、4月23日より体操教室がスタートしました。参加を楽しみにしていた子どもたちは、法人専用バスを利用し、グループ法人の「しまの杜こども園」にて体操教室に参加します。

初回はあいにくの天気となりましたが、傘をさしながらバスへ乗り込みいざ出発！

『しまの杜こども園』までの僅かな道のりも、バスの走行や車窓からの景観など、子どもたちの興味を引く体験が多く、子どもたちのテンションも上がります。

体操教室は、相好体操クラブの担当スタッフと子どもたちの元気な挨拶から始まります。先生からの「1.2.3.4」のかけ声に合わせて、子どもたちも「5.6.7.8」とつづき発声と柔軟体操を行います。身体を十分に温めた後は、ブリッジや背倒立、バランス運動など様々な技に挑戦していきます。体操教室の終了時には、開始同様礼儀正しい挨拶や作法はもちろん欠かせません。

当初は、初めての活動に少し緊張気味の子どもたちもいましたが、体操教室を終えて「楽しかった」「次はいつ？」といった会話が聞こえてくるほどでした。体操教室を通して得られる様々な学びは、これからの子どもたちの成長にとって貴重なものと感じています。私たちは、これからも子どもたちの健やかな成長に向け、様々な取り組みを実践していきます。



洗心福祉会では業務改善、業務の効率化を図るべく、DX(デジタルトランスフォーメーション)化をすすめております。障がい事業部でもDX化に伴い、支援に係る業務の記録についての効率化と簡素化、標準化を図っています。今回のシステムの導入にあたり、法人内にプロジェクトチームを発足。伊賀市で運営する障がい支援サービスの工房楽々あやま、きらめき工房いが、きらめき工房あおやまの3事業所において進めてまいりました。



各事業所単位で操作や機能の説明会を行い、所属する一人ひとりの職員が理解を深め、導入効果が得られるよう取り組みました。DX化に苦手意識をもつ職員も、次第にその操作に慣れつつあります。様々な課題や解決すべき事項はありますが、一つひとつ仲間と研鑽しながら取り組んでいます。また、記録業務の効率化だけでなく、ペーパーレス化や業務の標準化を図ることができます。時間効率が得られることで、日々のご利用者に関わる機会を増やすことができます。こうした取り組みは、私たちが働く環境も大きく改善されることとなります。職員の働きやすい環境づくりが魅力ある福祉の発信にもつながります。これからもDX化による取り組みを通して、ご利用者への支援の充実を目指して取り組んでいきます。



令和6年3月より、甲賀シルバーケア豊壽園において外国人技能実習生を受入れしてから、早3か月の月日が経過いたしました。彼女たちは毎日寮から職場まで片道1.5km自転車で通っています。日本に来た3月は真冬のように何度も雪が吹雪いていました。5月はがらりとかわって夏を思わせる日差しでした。日本の生活にも少しずつ慣れてきたところですが、一度も体調を崩さずに仕事に励まれている姿は、周りの職員も感化されます。



ニンヌイーヌイーナインさん

3か月たった彼女たちに
いくつか質問をしてみました!



チュチュテインさん

はい、慣れました。

・・・ Q1. 日本での生活は慣れましたか? ...

私もだいたい慣れました。

自分でつくっています。

・・・ Q2. お食事はどうされていますか? ...

ご飯をつくって、おかずは炒めものが多いです。辛ラーメンは好きで買います。時々カップラーメン、辛ラーメンを食べます。

買い物をして、お部屋の掃除をします。

・・・ Q3. お休みの日は何をされますか? ...

だいたい同じです。携帯電話で韓国や日本のドラマをみています。

GUとしまむらにきました。服を5個“着”かいました。セリアもきました。一緒に働いている職員さんにあいましたよ。声をかけてもらえてうれしかったです。

・・・ Q4. どこかに行かれましたか? ...

水口へバスでいきました。乗り放題券を買ってバスにのりました。

最初は自転車に乗るところから始め、一緒に買い物に行き、バスや電車の乗り方まで練習しました。今では二人だけで大阪まで遊びにいけるようになりました。職場ではご入居者と一緒にご飯作りや新茶を味わい、日本文化を楽しむ一方で、ミャンマーの文化や食べ物を楽しませていただくなど、新たな取り組みの機会にもなっています。

